

日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会

絨毛性疾患地域登録事業及び登録情報に基づく研究ご協力お願い

<p>当院研究責任者（所属）</p>	<p>菊地正晃（当院産婦人科 医長）</p>
<p>本研究の代表者および 研究参加機関</p>	<p>榎本 隆之（日本産科婦人科学会 婦人科腫瘍委員会委員長） 承認番号 2018-16 日本国内1 道21 県（北海道、岩手県、宮城県、福島県、栃木県、群馬県、千葉県、神奈川県、静岡県、新潟県、富山県、愛知県、兵庫県、和歌山県、鳥取県、島根県、香川県、福岡県、長崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県）の産婦人科医療機関が参加する。</p>
<p>目的</p>	<p>絨毛癌の約半数は胎状奇胎のあとに続いて発生するため、胎状奇胎の例を各地域で把握し適切に管理することは治療成績を向上させる。本研究は、絨毛性疾患症例の臨床情報を収集し、そのデータを用いて、わが国における胎状奇胎および絨毛性腫瘍の診断の実態および登録罹患数などの年次推移を解析する目的で行う。</p>
<p>調査データ該当期間</p>	<p>2018年1月～2026年12月31日（期間は2027年12月31日まで）</p>
<p>研究の方法 (使用する試料等)</p>	<p>上記期間内に当院産婦人科を受診し、絨毛性疾患（胎状奇胎、侵入奇胎、絨毛癌、存続絨毛症、胎盤部トロホプラスト腫瘍（PSTT）および類上皮性トロホプラスト腫瘍（ETT））の診断または治療を受けた患者さんを対象に、電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用する</p>
<p>試料/情報の 他の研究機関への提供</p>	<p>収集データは他施設で集計して学会で管理する。日本産科婦人科学会誌や日本産科婦人科学会ホームページで公表する。登録データを利用した二次研究は、あらためて倫理審査委員会での承認を必要とする。</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>個人情報はずべて削除し、第三者に一切わからない形で学会から提供し使用する。患者さんの情報と個人情報は連結させない。</p>
<p>研究資金源（利益相反）</p>	<p>開示すべき利益相反関係にある企業等はない。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>電話：028-622-5241 担当者：菊地正晃（当院 産婦人科医長）</p>